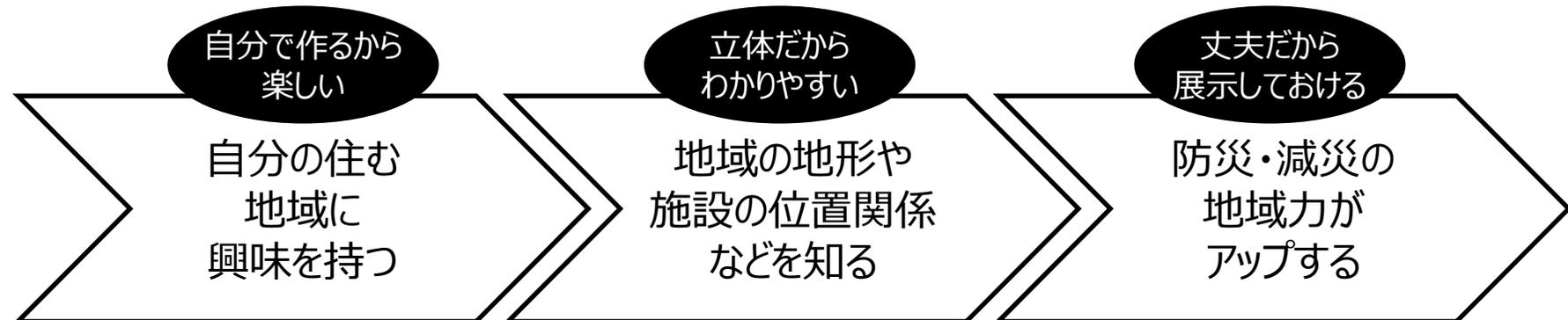


段ボールジオラマ防災訓練

地域の防災訓練に新しいご提案。

誰にでもわかりやすいジオラマを自分たちの手で組み立てながら、
子供から大人まで多世代で楽しく、身近な防災感覚を向上させます。



<ワークショップの基本的な流れ>

作る (体感する)

<ジオラマの組み立て・色塗り>

- 4グループに分かれ、段ボールジオラマキットを使ってジオラマを制作
- 川・海、主な道路、主要施設などを色塗り
- 完成後、重なった段ボールの枚数を数えることにより、高さや標高差などを確認

【ジオラマの組み立てに必要なもの】 ※接着する場合

- 木工用ボンド（2kg程度のボトル）×4グループ分
- 1グループにつき、ローラー刷毛2、トレイ1、絵筆数本
- 接着時の重し（国語辞典などでOK） 各グループ6～7個
- 色塗り用マジック（プロッキーなど） 各グループ1～2セット

考える

<掲載情報の検討・マッピング>

- 防災地図、ハザードマップ、野外ワーク等を通じて、危険箇所や避難施設等の防災関連ポイントをジオラマ上にマッピング
 - 危険箇所、避難施設、災害用自動販売機、コンビニ、消火栓、AED設置場所など
- マッピングの方法は、書き込み、模型やピンの設置、投影など様々なやり方が可能

役立つ

<防災セミナー、地域での展示・活用>

- 完成したジオラマを使って防災セミナーを実施
- その後は下記の各種施設等で展示するなど、地域住民と幅広く共有
- ジオラマを囲んでの定期的な地域防災交流会なども考えられる

学校の
空き教室

公民館

図書館

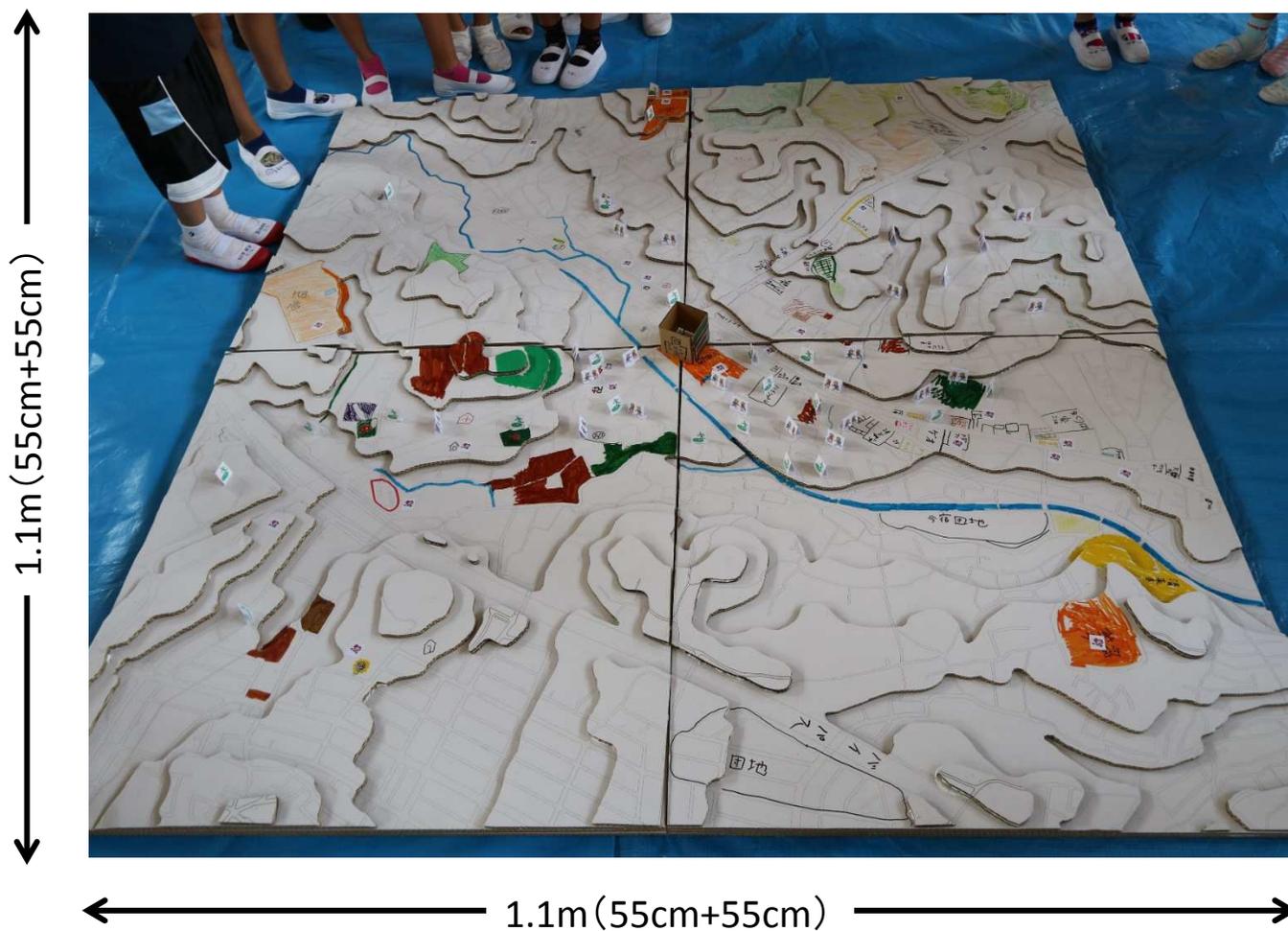
コミュニティ
センター

銀行

郵便局

<ジオラマキットの標準仕様> ※範囲、縮尺、サイズ等は状況に応じて変更可能です

- 対象エリアの等高線図に沿って切り抜かれた段ボールを重ねて作るカスタマイズされたジオラマキット
- 段ボール上には道路や主要施設等が印刷されています ※地図協力：株式会社ゼンリン様
- ジオラマの範囲は2.2キロ四方を想定
- サイズは1.1m×1.1m、縮尺2000分の1 ※授業での制作時は55cm×55cmに4分割して4グループで作業



標高差の少ない地域でも、等高線ピッチを細かくすることで、起伏のあるジオラマを作成できます。

<法人概要>

一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク

〒145-0063 東京都大田区南千束3-18-14 OKY内

<当法人の活動>

当法人は、組立式ジオラマを活用した実践的かつ主体的な防災教育の普及に関する活動を行うことにより、防災意識の向上に寄与することを目的とする。

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 段ボールジオラマキットの製造・提供
2. ジオラマキットを活用した防災教育プログラムの構築・提供
3. 上記活動の推進、P R 活動
4. その他当法人の目的を達成するために必要な事業



● ホームページ : info@bosai-diorama.or.jp

● Facebookページ : <https://www.facebook.com/bosai.diorama/>

株式会社ゼンリン
(地図協力)

ZENRIN

減災アトリエ
(プログラム・授業協力)



この活動はYahoo!基金からの
助成を受けています



文部科学省
土曜学習応援団

